

(別紙5)

整理番号 2018P-011
補助事業名 平成30年度 自転車競技普及促進及び競技力の向上に資する補助事業
補助事業者名 公益財団法人 日本自転車競技連盟

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

高い競技レベルの大会を全国各地で開催し、自転車競技に関心を持つ人々の増大を図ると共に、選手のみならずチーム、コーチ、審判員等の人材を育成することで、競技レベルの向上により国際大会参加者を輩出し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

1. 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部（高体連）事業

①全国高等学校選抜自転車競技大会

参加者数：男子 133チーム 選手313名

女子 39チーム 選手 50名

開催場所：トラック：福岡県北九州市・北九州メディアドーム

ロード：熊本県五木村・五木村特設コース

大会期間：平成31年3月21日（祝木）～ 3月24日（日）

（大会リザルト等）

http://www.hs-cycling.com/senbatsu/2018/h30_senbatsu_index.html

（動画配信）

<https://www.youtube.com/watch?v=4W3piI4ki5I> トラック1日目

<https://www.youtube.com/watch?v=ySg0RdSVkkQ> トラック2日目

<https://www.youtube.com/watch?v=ceuCQFZEpu0> トラック3日目

なお、LINE@でもコミュニケ速報配信をおこなった

LINE@ ID @hdk3918d

②全国高等学校トラック合宿

（公財）全国高等学校体育連盟自転車競技専門部ブロック合宿

参加者数：選手405名 役員及び指導者121名 計526名

開催場所および事業期間：全国6地域にて8月9日（木）～12月27日（木）

北海道・東北ブロック合宿

(別紙5)

宮城県：宮城県自転車競技場

8月10日(金)～12日(日)

関東ブロック合宿

山梨県：境川自転車競技場

8月19日(日)～21日(火)

東海・北信越ブロック合宿

福井県：福井競輪場

10月6日(土)～8日(祝月)

近畿ブロック合宿

京都府：向日町競輪場

11月9日(金)～11日(日)

中国・四国ブロック合宿

香川県：高松競輪場

8月23日(木)～25日(日)

九州ブロック合宿

佐賀県：武雄競輪場

8月9日(木)～11日(土)

沖縄県：名護市

12月24日(月)～27日(木)

2. 日本学生自転車競技連盟事業 <http://jicf.info/>



i) 全日本大学対抗選手権 (ロード)
ロードレース



ii) 全日本大学対抗選手権 (トラック)
団体追い抜き・表彰式

2 予想される事業実施効果

1. 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部（高体連）事業

① 全国高等学校選抜自転車競技大会

全国高等学校総合体育大会自転車競技（インターハイ）と並んで高体連事業2大会にあげられます。高校生にとっては、この大会を目標として自転車競技に取り組み、将来的にはプロ選手、オリンピック選手、さらに大学での競技継続、生涯スポーツとしての競技継続を目指していくなど、自転車競技に携わっていく高校生が多くなることにより自転車競技の底上げが期待できる。

また、高校生の女子選手にとっては全国高等学校総合体育大会（インターハイ）でも正式競技して採用されるようになったが、長年の選抜大会が唯一の公認全国大会であった。その歴史のなかで女子競技の普及と競技力向上に貢献してきた。今後は、総体と双壁として競技へのモチベーションの向上がより期待できる。それにより、女子ジュニア層の競技力向上につながることを期待できる。それが、これまで同様に女子競技の普及へのサイクルへとつながることが期待できる。

② 全国高等学校トラック合宿

全国大会未経験の1，2年生中心の合宿で、競走に不慣れな選手も多い中、実力レベルに応じてクラス分けして周回練習や模擬レースを行い、走行技術を高めることができた。競走経験が少ない選手にとって、実践的なレース走行ができ、競技力を高められ有意義なものになった。

女子選手は普段なかなかできない女子だけの模擬レースを実施し、女子だけの集団走行経験ができ走行技術向上につながった。

総括：

これらの事業を継続していくことで自転車競技におけるジュニア層の競技力の向上及びそれに伴う自転車競技に対する理解を深めること、安全に競技に携わるために知識を高めていくことが期待されます。また、高体連の女子選手の競技者数も増加傾向であり、女子ジュニア層からの自転車競技者育成が今後の女子競技者力の向上、ひいてはその世代が次世代への保護者として継続的な自転車競技の啓蒙となっていくことが期待できます。継続的に競技力の向上、自転車競技の普及・啓蒙、自転車の安全活用へとつなげ、2020後のレガシーへと繋がっていくことが期待されます。

2. 日本学生自転車競技連盟事業

大学生を中心とする青少年層に向けた、競技面・運営面双方で高いクオリティの自転車競技大会を日本国内の各地において開催し、U23層における自転車競技の競技力向上と普及拡大を促進することが予想されます。また、開催地域の自転車関係者・行政

(別紙5)

らとの連携を通して、各地域におけるサイクルスポーツ活動のコーチ・審判といった役割を担う大学生競技者出身者を輩出することで、幅広い地域の人々がサイクルスポーツを通じたクオリティオブライフの向上を実感する機会・人材を提供し、自転車普及振興の好循環を促進することが予想されます。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

1. 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部（高体連）事業

全国高等学校選抜自転車競技大会プログラム	1,000部
全国高等学校選抜自転車競技大会チラシ	5,000部
全国高等学校選抜自転車競技大会ポスター	500部
全国高等学校選抜自転車競技大会賞状	150部
全国高等学校選抜自転車競技大会報告書	300部
全国高等学校選抜自転車競技大会IDカード	1,000部

2. 日本学生自転車競技連盟事業

東日本学生選手権トラック自転車競技大会プログラム	300部
全日本学生選手権トラック自転車競技大会プログラム	400部
全日本大学対抗選手権自転車競技大会プログラム	800部
全日本学生選手権個人ロードレース大会プログラム	250部
全日本学生自転車競技トラック新人選東日本大会	220部
JICF国際トラックカップ	400部

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人日本自転車競技連盟
(コウエキザイダンホウジンニホンジテンシャキョウギレンメイ)
住 所： 〒141-0021
東京都品川区上大崎3-3-1
代 表 者： 会長 石崎聖子（イシザキセイコ）
担 当 部 署： 総務部
担 当 者 名： 事務局次長 後藤 慶一郎（ゴトウ ケイイチロウ）
電 話 番 号： 03-6277-2690

(別紙5)

F A X : 03-6277-2691

E - m a i l : goto@jcf.or.jp

U R L : <http://jcf.or.jp/>